

『経済協力用語辞典』

(海外経済協力基金開発援助研究会編 東洋経済新報社 1993年 v+247ページ)

外務省がまとめた1990年版の政府開発援助(ODA)に関する報告書『我が国の政府開発援助』によれば、89年の日本のODAの実績は、約90億^{ドル}となり、それまで常にトップの座にあったアメリカの実績を上回った。こうして、開発援助委員会(DAC)加盟18カ国の中で初めて世界一の規模になり、DAC加盟国全体の約2割を占めた。

1990年代に入って逆バブル・ショックによる不況の下で貿易黒字はさらに増加し、資金還流の目的も含めたODAの増額を迫られた。そして、本年開かれた東京サミットでは、今後におけるさらなる日本のODAの増額を発表している。

ところで、ODAに携わる機関には、1961年に設立された海外経済協力基金(OECF)と62年に設立された海外技術協力事業団を母体とする国際協力事業団(JICA)とがある。OECFは主に「円借款」を、JICAは主に「技術協力」と「無償資金協力」を担当している。

一般に経済協力はまだ馴染みが薄く、経済協力の仕組みや形態が複雑であり、やたらにODA、DAC、OECFなどと横文字が出てきて、理解しにくいことが多い。本書は、経済協力に関する理解を深めるために、援助の実施に当たるOECFスタッフが中心となり、援助の理念から現場までの用語をやさしく解説する経済協力専門の初めての本格的辞書として出版された。

その内容は、OECFスタッフがそれぞれ直接担当する分野の用語、技術協力・無償資金協力関連用語、国際金融・通貨関連用語、開発経済学の用語が網羅されている。また、付録としては、経済協力関係機関・団体、経済協力実施手続、欧文略語表等が掲載されている。以下で4点について詳説してみよう。

第1に、OECFスタッフが中心となったという特徴が出ているのは、たとえば「環境配慮のためのOECFガイドライン」、「WID配慮のためのOECF指針」の項目である。援助における「環境」と「開発と女性」とは近年の重要トピックスであり、そのガイドライン作成には数年を要し、それへのOECFの対応も変わってきている。その事情がコンパクトに要約されている。

第2に、援助方針に関して、「民主化と開発」、「顔の見える援助」、「三位一体の経済協力」等の項目がある。大規模になっていく援助に対してどのような顔を国として持つべきかの議論が近年盛んである。その議

論をする際に必要とされる基本的な項目が本書では押さえられている。

第3に、ODAの用語には業界用語とも言うべき「デイスパースメント」、「トランシュ」、「プレッジ」、「E/N」など耳なれないものが多いが、平易な解説で網羅されている。

第4に、たとえばOECFと世界銀行との協調融資は、1980年代後半以降増加の傾向にあるが、それにかかわる用語も解説されている。具体的に言うと、「構造調整の社会的側面」、「構造調整融資」、「サブ・サハラ・アフリカ特別援助プログラム」等である。

特に、援助にかかわる重要な項目は、「構造調整融資」であろう。その目的は、「基本的には政府介入の削減、経済の自由化、市場化促進」(59ページ)であり、「日本の援助のような二国間援助ではコンディショナリティの設定にむずかしいところもあるので、通常は世界銀行との協調融資の形をとる」(同ページ)とさりりと述べてある。なお、この点に関しては、政府介入のあり方、市場経済のあり方等、特に1990年代になってから大きな議論となっているのは周知のとおりである。

本書の一番最後に出てくる項目は、「湾岸危機」である。1990年8月2日に始まった湾岸危機で、周辺国への経済支援は、日本だけでも総額20億^{ドル}を超えたと説明してある。ヨルダン、シリア、パキスタンには、私が出向でOECFにお世話になった時期に実際にこの危機に関連してかかわったこともあり、感慨深いものがある。また、本書には「発刊に際して」として、「当基金のみならず関係機関の実務担当者が協力して執筆に当たった本書は、関連用語を辞書形式で網羅的に取り上げ、平易な言葉で説明しており、一般読者の要望に十分答えるものと信じます。また、本書は、実務経験に基づく具体的な解説が加えられていることから、実際に経済協りに携わっている関係者の方々にも有益であろうと考えております」という言葉がある。本書は、経済協力が幅広く理解されることを意図している。私も、そのように有効に活用されることを望むものである。

(朽木昭文：アジア経済研究所経済開発分析
プロジェクト・チーム主任調査研究員)

編集部に寄贈していただいた書籍
(1992年5月～93年9月、順不同)

伊東弘文・徳永正二郎編『アジア太平洋経済の成長と変動』九州大学出版会 1992年。
宋慶齡日本基金会・武田清子編『中国のきり拓く道——日本より見る——』勁草書房 1992年。
荒野泰典・石井正敏・村井章介編『海上の道』アジアのなかの日本史III 東京大学出版会 1992年。
荒野泰典・石井正敏・村井章介編『自意識と相互理解』アジアのなかの日本史V 東京大学出版会 1993年。
荒野泰典・石井正敏・村井章介編『文化と技術』アジアのなかの日本史VI 東京大学出版会 1993年。
中村靖『計画経済のミクロ分析』日本評論社 1992年。
金日坤『東アジアの経済発展と儒教文化』大修館書店 1992年。
『植民地帝国日本』岩波講座 近代日本と植民地1 岩波書店 1992年。
『帝国統治の構造』岩波講座 近代日本と植民地2 岩波書店 1992年。
『植民地化と産業化』岩波講座 近代日本と植民地3 岩波書店 1993年。
『統合と支配の論理』岩波講座 近代日本と植民地4 岩波書店 1993年。
『膨張する帝国の人流』岩波講座 近代日本と植民地5 岩波書店 1993年。
『抵抗と屈従』岩波講座 近代日本と植民地6 岩波書店 1993年。
『アジアの冷戦と脱植民地化』岩波講座 近代日本と植民地8 岩波書店 1993年。
佐藤俊『レンディーレ——北ケニアのラクダ遊牧民——』弘文堂 1992年。
服部民夫『韓国——ネットワークと政治文化——』東アジアの国家と社会4 東京大学出版会 1992年。
白石昌也『ベトナム——革命と建設のはざま——』東アジアの国家と社会5 東京大学出版会 1993年。
猪口孝『日本——経済大国の政治運営——』東アジアの国家と社会6 東京大学出版会 1993年。
21世紀をともに生きる地球の仲間編『たみちゃんと南の人びと』PART2 明石書店 1992年。
樊勇明『中国の工業化と外国資本——経済開放の現状と展望——』文真堂 1992年。
細見真也『アフリカの農業と農民——ガーナの事例研究——』同文館 1992年。
石田浩『中国農村経済の基礎構造——上海近郊農村の工業化と近代化のあゆみ——』見洋書房 1993年。
松井やより・R・ルブレヒト編『NGO、ODA 援助は誰のためか——日本とドイツと第三世界——』明石書店 1992年。

『アジア経済』XXXIV-11 (1993.11)

大串和雄『軍と革命——ペルー軍事政権の研究——』東京大学出版会 1993年。
安保哲夫・柴垣和夫・河合正弘編『日米関係の構図——相互依存と摩擦——』ミネルヴァ書房 1992年。
駒井洋『外国人労働者定住への道』明石書店 1993年。
森井淳吉『発展途上国の農業問題——現代の東南アジアと日本——』ミネルヴァ書房 1993年。
小林和正・加藤壽延編『第三世界の人口と経済開発』大明堂 1993年。
金鍾碩『過渡期の経済と企業』同文館 1993年。
久保田順編『市民連帯論としての第三世界』文真堂 1993年。
風間秀人『満州民族資本の研究——日本帝国主義と土着流通資本——』緑蔭書房 1993年。
西尾昭『韓国 その法と文化』啓文社 1993年。
大島一二『現代中国における農村工業化の展開——農村工業化と農村経済の変容——』筑波書房 1993年。
金三洙『韓国資本主義国家の成立過程 1945—53年——政治体制・労働運動・労働政策——』東京大学出版会 1993年。
宮島昭二郎編『現代中国農業の構造変貌』九州大学出版会 1993年。
大川一司・小浜裕久『経済発展論——日本の経験と発展途上国——』東洋経済新報社 1993年。
小島眞『現代インド経済分析——大国型工業発展の軌跡と課題——』勁草書房 1993年。
梶村秀樹『朝鮮史と日本人』梶村秀樹著作集第1巻 明石書店 1993年。
梶村秀樹『朝鮮史の方法』梶村秀樹著作集第2巻 明石書店 1993年。
梶村秀樹『近代朝鮮社会経済論』梶村秀樹著作集第3巻 明石書店 1993年。
梶村秀樹『現代朝鮮への視座』梶村秀樹著作集第5巻 明石書店 1993年。
柳田侃編『アジア経済論——転換期のアジア経済——』ミネルヴァ書房 1993年。
堀中浩『現代国際経済と第三世界』青木書店 1993年。
鮎京正訓『ベトナム憲法史』日本評論社 1993年。
星野芳郎『技術と政治——日中技術近代化の対照——』日本評論社 1993年。
中央大学人文科学研究所編『日中戦争——日本・中国・アメリカ——』中央大学出版部 1993年。
中津孝司『南部アフリカ』紛争地域現代史2 同文館 1993年。
本橋渥『現代中国論——過渡期経済と文革期経済批判——』新評論 1993年。
蛭名保彦『環日本海経済圏——脱冷戦時代の東北アジア協力をめざして——』明石書店 1993年。

- 関丙祐『第三世界 国連による装置開発——エルラー女史の絶望に答えて——』三一書房 1993年。
- 石川榮吉監修 大塚柳太郎・片山一道・印東道子編『島嶼に生きる』オセアニア1 東京大学出版会 1993年。
- 石川榮吉監修 須藤健一・秋道智彌・崎山理編『伝統に生きる』オセアニア2 東京大学出版会 1993年。
- 石川榮吉監修 清水昭俊・吉岡政徳編『近代に生きる』オセアニア3 東京大学出版会 1993年。
- 首藤もと子『インドネシア——ナショナリズム変容の政治過程——』井村文化事業社 1993年。
- R・H・バランス；S・W・シンクレア著 加藤義喜・竹内一樹監訳『産業の盛衰と世界経済——生残りのための産業戦略——』文眞堂 1993年。
- 平松茂雄『中国の海洋戦略』勁草書房 1993年。
- 小嶋正己『中国社会主義企業の展開』千倉書房 1993年。
- 小島武司・韓相範編『韓国法の現在』(上) 中央大学出版部 1993年。
- 長田彰文『セオドア・ルーズベルトと韓国——韓国保護国化と米国——』未来社 1993年。
- 後藤純一『外国人労働者と日本経済——マイグロノミクスのすすめ——』有斐閣 1993年。
- 初瀬龍平『国際政治学——理論と射程——』同文館 1993年。
- 鈴木満直『開放下における韓国の金融システム——資本輸出への道——』勁草書房 1993年。
- 姜在彦『満州の朝鮮人パルチザン——1930年代の東満・南満を中心として——』青木書店 1993年。
- 梅津和郎編『新・開発経済学』晃洋書房 1993年。
- 細谷千博ほか編『太平洋戦争』東京大学出版会 1993年。
- 升味準之輔『東アジアと日本』東京大学出版会 1993年。
- 井尻秀憲『台湾経験と冷戦後のアジア』勁草書房 1993年。
- 林偉史・菰田文男編『技術革新と現代世界経済——技術開発・移転システムの国際比較——』ミネルヴァ書房 1993年。
- 阿部望『ユーゴ経済の危機と崩壊——国内要因と国外要因——』日本評論社 1993年。
- 濱田博男編『アジアの証券市場』東京大学出版会 1993年。
- 山澤逸平・三和総合研究所編『アジア太平洋2000年のビジョン』東洋経済新報社 1993年。
- 塚瀬進『中国近代東北経済史研究——鉄道敷設と中国東北経済の変化——』東方書店 1993年。
- 毛里和子『現代中国政治』名古屋大学出版会 1993年。
- 溝口雄三・浜下武志・平石直昭・宮嶋博史編『交錯するアジア』アジアから考える1 東京大学出版会 1993年。
- 鄭慶謨・崔達坤編 張君三訳『朝鮮民主主義人民共和国主要法令集』日本加除出版 1993年。
- Norma J. Kriger, *Zimbabwe's Guerrilla War: Peasant Voices*, Cambridge, Cambridge University Press, 1992.
- S. K. B. Asante, *African Development: Adebayo Adedeji's Alternative Strategies*, London, Hans Zell Publishers, 1991.
- Robert H. Bates, *Beyond the Miracle of the Market: The Political Economy of Agrarian Development in Kenya*, Cambridge, Cambridge University Press, 1989.
- Y. Hayami and T. Kawagoe, *The Agrarian Origins of Commerce and Industry: A Study of Peasant Marketing in Indonesia*, London, Macmillan Press, 1993.
- Patrick Chabal, *Power in Africa: An Essay in Political Interpretation*, Basingstoke, Macmillan Press, 1992.
- Stephen Ellis and Tsepo Sechaba, *Comrades against Apartheid: The ANC & the South African Communist Party in Exile*, London, James Currey Publishers, 1992.
- Robin Jeffrey, *Politics, Women and Well-Being: How Kerala Became 'a Model'*, Basingstoke, Macmillan Press, 1992.
- Vernon Marston Hewitt, *The International Politics of South Asia*, Manchester, Manchester University Press, 1992.
- Donald W. Attwood, *Raising Cane: The Political Economy of Sugar in Western India*, Boulder, Westview Press, 1992.
- D. A. Low, *Eclipse of Empire*, Cambridge, Cambridge University Press, 1991.
- Myron Echenberg, *Colonial Conscripts: The Tirailleurs Senegalais in French West Africa, 1857-1960*, Portsmouth, Heinemann, 1990.
- Thomas C. Wright, *Latin America in the Era of the Cuban Revolution*, New York, Praeger Publishers, 1991.
- Rodney V. Cole and Somsak Tambunlertchai eds., *The Future of Asia-Pacific Economies: Pacific Islands at the Crossroads?*, Canberra, Australian National University, 1993.
- Nancy Lee Peluso, *Rich Forests, Poor People: Resource Control and Resistance in Java*, Berkeley, University of California Press, 1992.
- Chibli Mallat, *The Renewal of Islamic Law*, Cambridge, Cambridge University Press, 1993.
- William Foddy, *Constructing Questions for Interviews and Questionnaires: Theory and Practice in Social Research*, Cambridge, Cambridge University Press, 1993.
- Betty J. Harris, *The Political Economy of the Southern African Periphery: Cottage Industries, Factories and Female Wage Labour in Swaziland Compared*, New York, St. Martin's Press, 1993.
- Benny Morris, *Israel's Border Wars 1949-1956*, Oxford, Clarendon Press, 1993.